

■ コーディネーターのご紹介

○ 谷津 孝啓さん（ボノ株式会社取締役）

「百年後も愛される 面白き価値をつくる」を理念とする、ボノ株式会社の取締役で、平成 28 年度から、三大学の宿泊研修のコーディネーターとしてお世話になっています。

都会では味わえない日本のまちの魅力を発掘する「まち冒険プロジェクト」や、人と地域をつなぐプロジェクト「我楽田工房」、クリエイター・企業・地域とその商品の PR、イベント活用などに貢献する「くみぐま」事業などを展開しています。



○ 坂田 真慶さん（(一社) Tsuchica 理事）

大学卒業後、企業で IT 系企業の海外人材採用支援サービスの立ち上げに従事した後、福岡県柳川市地域おこし協力隊や京都府の移住コンシェルジュなどを経験されました。

平成 29 年 9 月に京丹後市へ移住し、食育・観光・福祉・まちづくりの様々なプロジェクトの立ち上げを行っています。



■ 訪問予定先のご紹介

○ 京丹後市移住支援センター「丹後暮らし探求舎」

移住の相談対応や移住希望者の現地案内、都市圏でのセミナー等の企画・実施など、市の魅力発信やきめ細かな移住支援を行うため、平成 30 年 5 月にオープンしました。

京丹後市への移住者の方が、平成 29 年 10 月に設立した一般社団法人 Tsuchica が運営し、丹後の暮らしがもっと楽しくなるよう、人や地域を繋げる活動を行っています。



○ シェアオフィス

平成 27 年に大阪府から 1 ターンで京丹後市に移住した、岡村芳広さんが運営するシェアオフィスで、建築家や映像制作者などが入居しています。

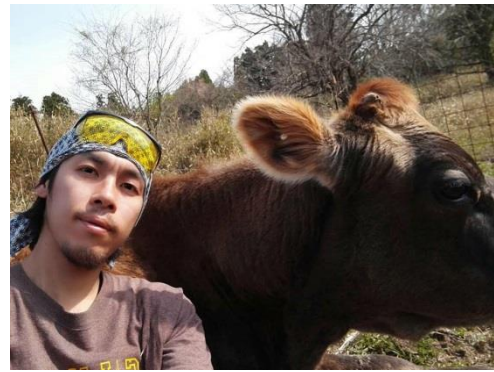
岡村さんは、海運業界で営業とオペレーターとして従事し、シンガポールで 6 年間在住した後、京丹後市に移住され、シェアオフィスを運営しながら、一般社団法人 Tsuchica の代表として、農業・教育・観光をテーマに、幅広く活動されています。



○ 五十河茅葺き桃源郷

平成 29 年秋から、秋田県出身の中川圭さん（25 歳）が、京丹後市大宮町五十河地域の江戸時代の古民家「民家苑」に住み込んで、農業と農家民泊を行っています。

中川さんは、平成 30 年 7 月から、京丹後市の「地域おこし協力隊」の隊員にも就任され、大宮町五十河地域の担当として、地域の集落連携・拠点づくりや農業の共同作業・保全に関する活動、移住促進や SNS 等を活用した地域の魅力発信など、人口が減少し、耕作放棄地が増える五十河地域を次世代に手渡せるよう取り組んでいます。

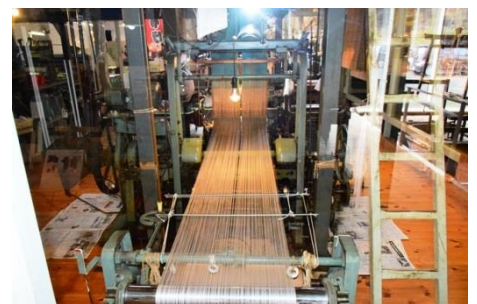


○ 丹後ちりめん歴史館

与謝野町にある、昭和初期の絹織物会社の跡地を活用した施設で、織物工場特有の三角屋根が印象的な建物です。

かつて、この工場は、明治 36 年に創業した織物会社が所有し、当時は北イタリア、ミラノ周辺の染色工場へ品質の良いシルク白生地を輸出し、日本の外貨獲得に貢献したほか、昭和 34 年（1959）の天皇陛下ご成婚の際に、ここで製織した白生地を結納の品にお使いになりました。

織物会社の廃業後、施設の再整備を行い、現在は、丹後ちりめんの歴史の紹介や生産工程の見学、手機体験などを行っているほか、丹後ちりめんをはじめとする絹織物の商品販売も行っています。





○ 丹後ばらずし（1日目の夕食）

サバのおぼろを使うのが特徴的な、丹後地域の代表的な郷土料理です。

地域のお祭りや祝い事など、人をもてなすハレの日にはかかせない家庭の味で、長方形の木で作った「まつぶた」に甘辛く炒ったおぼろと寿司めしを重ね、錦糸卵、しいたけ、かまぼこ、紅しょうがで彩りを添えます。

